# 家庭菜園 Q&A

問題解決!

南部営農センター
園芸課
検校 哲也

**Q1** ブロッコリーを洗うと浮いてくる油みたいなもの、白い膜というか粉が付いてます。いったい何でしょうか?

**A1** キャベツでも見られますし、果物にも付いています。植物自体が生成する油分で、ワックスブルームと言います。

一見すると農薬かなと勘違いしそうですが、植物にとって大切な分泌物です。水分の蒸発を防いだり、風雨から自身を守る役目があります。雑菌などの侵入も防ぎます。成分はパラフィン(蝋=ろう)、人体には何の影響もありません。

ブロッコリーは、つぼみを食べているわけですが、花を咲かせて種を残すまで自分の身を守れるように、ブルームを分泌します。新鮮なものほどブルームが多く付着していて水をはじきます。鮮度の目安にもなります。ブドウがわかりやすいですね。(写真1)

果物は熟した後、過熟といって、どんどん古くなっていきます。熟した状態を長く保とうとして出てくる分泌物と考えればいいでしょう。動物に食べてもらって種を運んでもらう果実の場合、熟した状態のまま長く木に実っていることで、食べられやすく、子孫を広く残そうとしているわけです。

写真1

ブルームは、ちょっと触れただけで落ちます。収穫から箱詰め輸送途中、店頭に並べるときに落ちます。

ブルームがしっかりついている、というのは収穫されてあまり時間がたっておらず、ていねいに扱われたということですね。

写真2

一昔前は白い粉が吹いたキュウリが売ってました。(写真2)最近のキュウリは緑あざやかでイボもありません。台木のカボチャを工夫してブルームの発生しないキュウリが開発され、ほとんどがブルームレスと呼ばれるキュウリに替わりました。そして、ブルームを失ったキュウリは鮮度もわかりにくくなりました。ブルームがあれば鮮度が落ちていくにつれてブルームも消えていくのですが、最初からなければ鮮度はわかりません。とはいえ、選ぶ時のポイントを説明します。

曲がっていてもかまいませんが、元から先まで太さの変わらない、つやのある緑が濃く、イボイボがとがっているものを探して、切り口が新しいか確認して選んでください。

**Q2** 畑仕事は旧暦に従うの?

**A2** 国府宮神社の裸祭は毎年旧暦一月十三日に決まって行われます。今年は、二月十三日、日曜日の開催です。

「裸祭が終わらないと暖かくならん」と言われます。このように、旧暦を気にすることもありますが、ほとんど太陽暦(新暦)で私たちは暮らしています。

月の満ち欠けで日付を決める旧暦だと、一年が354日となります。四季を恵む太陽は365日で一年を刻みます。旧暦は数年に一度、うるう月を足して一年を十三カ月にして調整します。つまり、年によって季節が一カ月もずれることもあります。これでは、種まきの時期だとか農作業に不便です。

そこで、二十四節気が考え出され、暦に書き加えることになりました。太陽の動きから一年を24の節に分け、立春に始まり大寒まで名前が付きました。これは、皆さんが使っている新暦(グレゴリオ暦)と一致した科学的なものです。

月の満ち欠けは、潮の満ち引きに連動し、出産といった動物生理など自然の動きにシンクロするといわれます。月の変化(太陰暦)と二十四節気(太陽暦)を組み合わせたのが旧暦(太陰太陽暦)です。

二十四節気を季節の目印にして畑仕事に励んでください。

**オンライン農業塾はこちら**
動画はコチラ

**管内の病害虫情報はこちら**

**家庭菜園情報はこちら**